

# 地区説明会の実施報告

## (目次)

- 1.地区説明会の開催概要
- 2.当日いただいた意見概要
- 3.事後アンケート結果概要
- 4.第2回地区説明会について

株式会社建設技術研究所

# 1.地区説明会の開催概要

- 第1回地区説明会は2地域、2地区で開催し、計65名参加した。

<第1回地区説明会開催概要>

開催地域	日時	参加人数	会場	開催プログラム
串木野地域	令和5年11月19日（日） 10:00～11:30	13名	いちき串木野市役所 串木野庁舎	1 開会 2 説明 (1) いちき串木野市の今とこれから (2) 洋上風力発電とは (3) いちき串木野市洋上風力発電に関する検討状況 (4) 今後の予定 3 質疑応答 4 その他 5 閉会
市来地域	令和5年11月19日（日） 14:00～16:00	12名	市来地域公民館	
湊町・湊地区	令和5年11月20日（月） 19:00～20:00	23名	いちきアクアホール	
荒川地区	令和5年11月24日（金） 19:00～20:00	17名	荒川交流センター	



<各会場の説明会様子>

## 2.当日いただいた意見概要

- 当日いただいた主な意見は以下のとおり。

質問	回答
促進区域に指定されたらメンテナンス港のための埋め立てや港湾整備にどのくらいの期間を要するか。(串木野地域)	促進区域の指定までに2、3年要し、事業者公募に半年から1年程度要する。最終的に国が許可を出し、事業者が発電を開始するまでに10年ほど要する。
海沿いの近くに住んでいるため、景観の変化を懸念している。設置の際の音は大きく、設置後も音がすると聞いている。(市来地域)	影響については発電事業者の責任において環境影響評価を行う。法律に基づき大臣からの意見や住民からの意見を受けながら影響をできる限り低減するという措置をしたうえで事業を進められる。
発電した電気は誰が使うのか。地産地消であれば市が発電したものを市で優先して消費するというのか。(市来地域)	市としては発電電力の一部をいちき串木野電力で買い取るような仕組みづくりを行い、再エネ地産地消として地域に還元したいと考えている。
3事業者の事業計画区域は市外も含まれるとのことだが、なぜ本市だけで取り組むのか。他市との連携はしないのか。(市来地域)	他市との連携に関しては、日置市、薩摩川内市にも声をかけ、日置市と江口漁協は研究協議会にオブザーバーとして参加している。
発電事業者は倒産する場合もある。責任はだれが取るのか。(市来地域)	国の評価基準において経営評価が入っており、20年事業を継続できるのかも評価される。できるだけリスクを減らす方向で評価項目が設定されている。(追補：「再エネ海域利用法」において事業者は経営破綻した場合に備えた撤去方法の提示とそのため費用の確保が義務付けられている。)
本市沖合は台風がよく通る。台風能耐えられる設備をつくることのできるのか。倒れた場合に誰の責任で撤去するのか教えてほしい。(湊町・湊地区)	万が一破損するなどした場合は、事業者の責任において修理、撤去される。(追補：現状公表されているすべての「促進区域公募占用指針」(令和6年1月時点)において、発電設備が倒壊した場合は事業者が責任をもって撤去を行う旨が記載されている。)
地図にどこに何基設置するかなどの具体性があるべきではないか。(湊町・湊地区)	事業者がその範囲でどこに何基設置する等ということを決めるため、現時点で市から具体的に提示することはできない。
川内原発の運転期間が延長するニュースがあったが、追加で洋上風力発電を行うことで電力が余ることはないか。(荒川地区)	国としては脱炭素社会の実現を目指して再エネ電源比率を5割から6割にすることを目標としており、原子力発電とは別に増やしていく必要がある。

# 3.事後アンケート結果概要

- 地区説明会後のアンケート結果は以下のとおり。

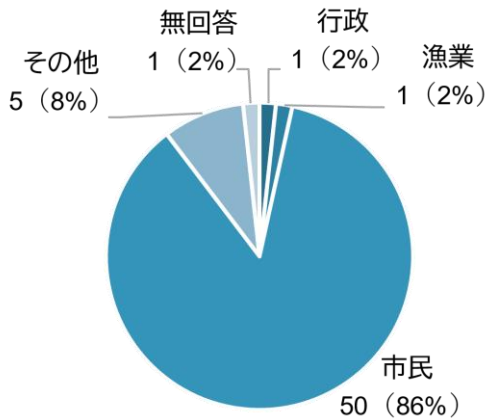
## <事後アンケート概要>

- 参加者数：65名
- 回収数：59枚
- 有効回答数：58枚
- 回答率：91% (59/65)

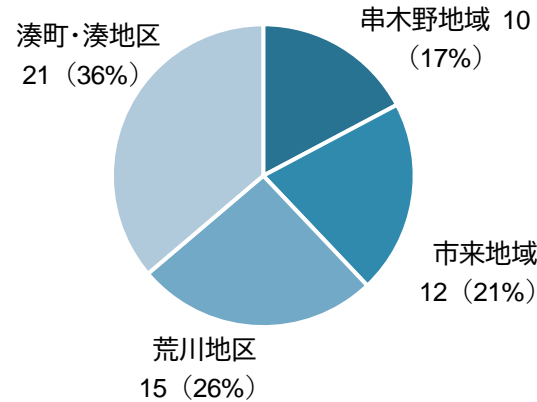
## (設問事項)

- 説明会の理解度
- 洋上風力に対する期待や不安
- 洋上風力発電事業の印象

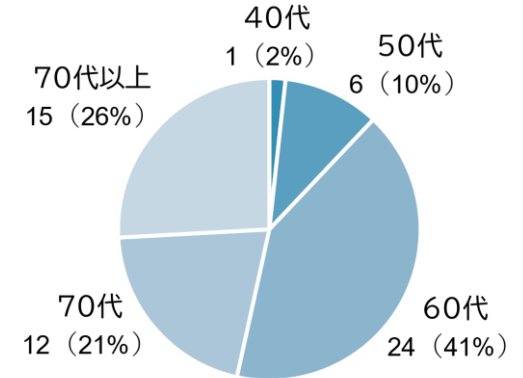
## ◇所属



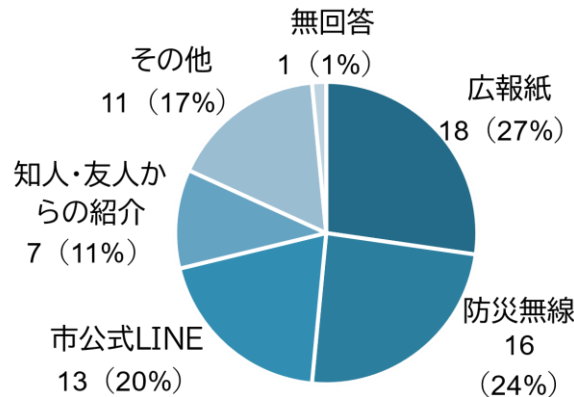
## ◇参加地区



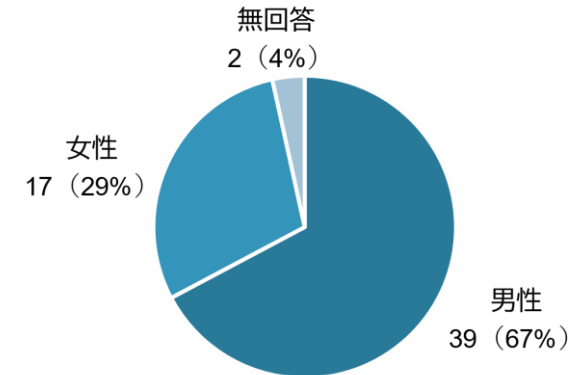
## ◇年齢



## ◇説明会を知ったきっかけ (複数回答)



## ◇性別



### 3.事後アンケート結果概要

#### ◇洋上風力に対する期待や不安（自由回答）

<主な期待事項>		<主な不安事項>	
原発からの脱却	原子力発電に依存しない社会をめざす市の現状をふまえて、洋上風力に期待します。（70代,串木野地域）	環境影響・社会影響	環境に与える影響が大きい。（70代,市来地域）
	原発にかわるクリーンエネルギーとして期待する。（70代以上,市来地域）		環境への影響がどのようになるか不安です。（70代,市来地域）
地域振興への貢献	市の活性化につながる事業なので期待しありません。（50代,串木野地域）		災害の影響
	市の発展に寄与してもらいたい（60代,湊町・湊地区）	台風竜巻、津波が風力発電に当たり最大級の災害を心配しています。（70代,串木野地域）	
	洋上風力発電を取り入れることによって、いちき串木野市により効果があるのであれば良い事だと思います。各家庭の電気代が安くなればと思います。（60代,湊町・湊地区）	長期間事業への不安	今後はメガ台風が発生すると予想されているが大丈夫だろうか。（70代,串木野地域）
	前向きに進めてください。地域振興方策を前向きに出し検討を。（70代以上,湊町・湊地区）		事故災害等（60代,湊町・湊地区）
		未来の人たちの負の遺産にならないかが不安になりました。（70代,串木野地域）	
		洋上発電の20年後がどうなるのか。（50代,湊町・湊地区）	
		天災や事業者の廃業等で設備が不能になったとき、海底まできちんと撤去できる国の保証、保険制度等あるのか心配。（60代,湊町・湊地区）	
		人が減少していくのに、数十年後にそれに関連する人材が残っているのか不安だ。（60代,串木野地域）	



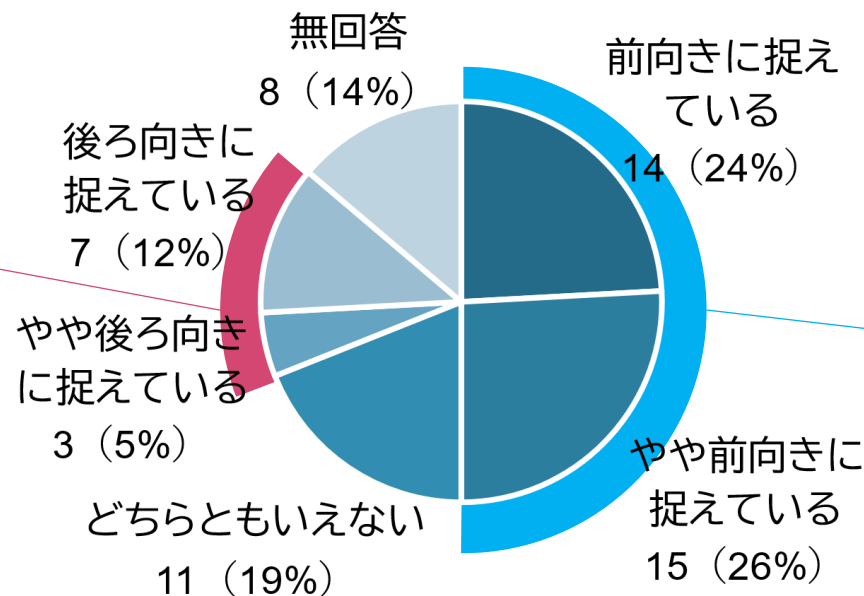
## ◇市の「洋上風力発電事業」の印象

### <後ろ向きに捉えている>

- 市民生活が考慮されて計画があるのか。(70代以上,市来地域)
- 自分に利はない。(70代,市来地域)
- 経済効果はたかが数年だと思われる。(70代,市来地域)
- メリットがよく分からない。(50代,市来地域)
- 説得力に欠ける。メリットは余りない。(50代,市来地域)

### <やや後ろ向きに捉えている>

- 市にどのくらい実質的な恩恵があるのかよく分からない。具体化するのに10年以上かかるし、実現できるかも分からないものより実利のある取り組みを検討する方がよい。(60代,市来地域)
- 景観はダメになるのはあきらか。(60代,湊町・湊地区)



### <前向きに捉えている>

- 電力確保として必要であると考えます。(50代,串木野地域)
- 将来の本市が今と変わらず持続するために、新しい産業として必要。(50代,串木野地域)
- 先々の火力、原子力は不安定。カーボンニュートラル実現→再エネは必要。(60代,湊町・湊地区)

### <やや前向きに捉えている>

- 原子力よりは再エネの方が将来的には大切だと思う。再エネを積極的に進める必要がある。(60代,市来地域)
- 地方創生のためにも推進した方がよい(70代以上,市来地域)
- カーボンニュートラルのため(60代,荒川地区)

## 4.第2回地区説明会について



- 次回の第2回地区説明会の開催方針は以下のとおり。

項目	概要
対象	市内在住の方
日時・会場 (予定)	2/15木 19:30～ 羽島交流センター (対象:羽島地区) 2/16金 19:00～ 荒川交流センター (対象:荒川地区) 2/18日 10:00～ アクアホール多目的室 (対象:市来地域) 2/18日 15:00～ 防災センター会議室 (対象:串木野地域) 2/19月 19:00～ 照島交流センター (対象:照島地区) 2/20火 19:30～ 本浦交流センター (対象:本浦地区) 2/21水 18:30～ 川南交流センター (対象:川南地区) 2/22木 19:00～ アクアホール多目的室 (対象:湊・湊町地区) 2/27火 19:30～ 野平交流センター (対象:野平地区)
プログラム案	<ul style="list-style-type: none"><li>● いちき串木野市沖洋上風力発電に関する検討状況<ul style="list-style-type: none"><li>&gt; 調査の目的</li><li>&gt; 令和5年度調査結果 (協議会、ゾーニングマップなど)</li></ul></li><li>● 今後の進め方について<ul style="list-style-type: none"><li>&gt; 促進区域指定の流れ</li><li>&gt; 市の考え方</li></ul></li></ul>